

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040301010100		事業の種類	2		
年度	29	事務事業名	遊歩道整備事業		予算事業名	遊歩道整備事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		美しい自然環境を保全し、活用する			担当課長	竹本 頼高	担当者名	船曳 直志
取組み事項		森林を豊かに育てる			実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		遊歩道等改修工事						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	遊歩道を整備し市民が利用するように						

2 事業の概要 Do

実施の概要		清掃、除草委託業務					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	業務委託	箇所	2	2	2	2	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.176	0.248	141	0.244	98	0.276	113	
	臨時職員			-		-	0.004	-	
支出内訳	人件費	1,662,086	2,217,106	133	2,254,304	102	2,546,456	113	
	事業費	1,683,425	1,603,244	95	1,603,455	100	2,816,000	176	
	合計	3,345,511	3,820,350	114	3,857,759	101	5,362,456	139	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,345,511	3,820,350	114	3,857,759	101	5,362,456	139	
合計	3,345,511	3,820,350	114	3,857,759	101	5,362,456	139		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		業務委託箇所							
指標説明(式)		業務委託箇所							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
箇所	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	3	2	66.7	2	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	目標は達成している。	4
効率性	コストの節減	草刈回数や施工延長を見直し実施している。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

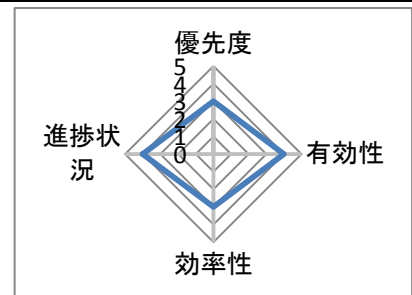
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	老朽化対策が急務となってきている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	施設の補修必要箇所を精査して、対応する。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040301010200		事業の種類	2		
年度	29	事務事業名	林道維持修繕事業		予算事業名	林道維持修繕事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		美しい自然環境を保全し、活用する			担当課長	竹本頼高	担当者名	船曳直志
取組み事項		森林を豊かに育てる			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	林道を整備し山林所有者及び市民が利用するように						

2 事業の概要 Do

実施の概要		林道改修、舗装					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	工事件数	件数	2	2	2	2	
	草刈	件数	1	1	1	1	

3 投入資源

		会計区分	一般会計						事業費単位:円
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.156	0.088	56	0.084	95	0.080	95	
	臨時職員			-		-	0.004	-	
支出内訳	人件費	1,512,446	1,011,506	67	1,019,424	101	989,040	97	
	事業費	1,275,480	1,102,680	86	960,120	87	1,072,000	112	
	合計	2,787,926	2,114,186	76	1,979,544	94	2,061,040	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,787,926	2,114,186	76	1,979,544	94	2,061,040	104	
合計	2,787,926	2,114,186	76	1,979,544	94	2,061,040	104		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		委託、工事件数							
指標説明(式)		委託、工事件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件数	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

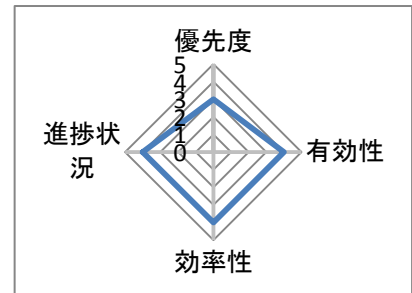
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	林道の安全な利用が出来ている。	4
効率性	コストの節減	整備箇所において、経済的な方策を取る。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	施設の老朽化が顕著である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	施設の簡易補修を実施する。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040301010300		事業の種類	5	
年度	29	事務事業名	森林整備事業		予算事業名		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		美しい自然環境を保全し、活用する		担当課長	竹本 頼高	担当者名	船曳 直志
取組み事項		森林を豊かに育てる		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		森林整備事業					
根拠法規及び関連法規		県民みどり税関連事業					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	高齢人工林					
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢人工林の若返りを図り、保水能力の高い森林を造成する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		針葉樹林と広葉樹林の混交整備 計画調査面積A=30ha				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	計画調査設計	ha			30	
	作業道設置	m				1595
	広葉樹植栽	ha				

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.026	-	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員		0.072	-	0.068	94	0.100	147	
	臨時職員			-		-	0.004	-	
支出内訳	人件費		890,946	-	895,936	101	1,147,960	128	
	事業費			-		-		-	
	合計		890,946	-	895,936	101	1,147,960	128	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-	5,000,000	-	20,340,000	407	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		890,946	-	-4,104,064	-461	-19,192,040	468	
合計		890,946	-	895,936	101	1,147,960	128		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助件数							
指標説明(式)		補助件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-	1	-	1	100.0	
	実績			-	1	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

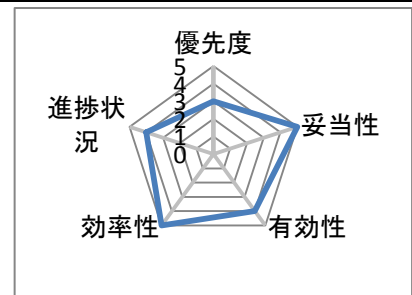
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	実施事業者が森林整備に精通した森林組合となっている。	4
効率性	コストの節減	県民みどり税を100%活用した補助事業	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	森林組合との連携を密にする必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	専門的分野のため、職員がスキルアップする。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040301020100		事業の種類	5	
年度	29	事務事業名	有害鳥獣対策事業		予算事業名	有害鳥獣対策事業 優先度 4	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		美しい自然環境を保全し、活用する		担当課長	竹本 頼高		担当者名 横川 昌紀
取組み事項		田園を美しく守る		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名		有害鳥獣対策事業					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家					
	誰(何)を対象として	農家					
	意図(どのような状態にしたいのか)	鹿、猪などの有害鳥獣対策を行うことで農地の荒廃を防ぎ、田園風景や自然環境を美しく保全していく。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		近年、野生動物の農作物被害は営農意欲の低下を招くなど大きな問題となっているため、兵庫県猟友会相生支部と連携し駆除活動や各種防護事業を行う。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	有害鳥獣駆除	回/年	2	2	2	2	
	防護柵の機能向上	km	2.8	0	3.6	4	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.424	0.420	99	0.444	106	0.456	103	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,517,622	3,513,126	100	3,797,904	108	3,965,368	104	
	事業費	6,801,675	5,750,420	85	7,855,571	137	8,747,000	111	
	合計	10,319,297	9,263,546	90	11,653,475	126	12,712,368	109	
財源内訳	国庫支出金	1,360,000		0		-		-	
	県支出金	752,000		0	1,696,000	-	2,450,000	144	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,207,297	9,263,546	113	9,957,475	107	10,262,368	103	
合計	10,319,297	9,263,546	90	11,653,475	126	12,712,368	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		鳥獣の捕獲頭数(猟期内、猟期外)							
指標説明(式)		猪・鹿の捕獲頭数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
頭	目標	710	810	114.1	850	104.9	850	100.0	
	実績	754	416	55.2	集計中	-			
指標名2		農作物の被害金額							
指標説明(式)		出荷農家における被害金額(相生市鳥獣被害防止計画において、被害金額について、現状値をH26、目標年度をH30として軽減目標を設定)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4,097,000	3,765,000	91.9	3,433,000	91.2	3,101,000	90.3	
	実績	1,871,000	2,139,000	114.3	2,207,000	103.2			

【効率性】

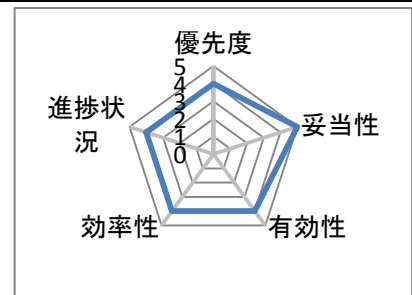
指標名1		被害対策済集落数							
指標説明(式)		被害防護柵の設置完了集落数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	25	25	100.0	25	100.0	25	100.0	
	実績	25	25	100.0	25	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	目撃数や被害総額は減少傾向にあり、目標は達成の見込みである。	4
	市民サービス	捕獲頭数の拡大により、農産物の被害金額(出荷農家)は減少傾向である。	
効率性	負担割合の適正化	捕獲活動委託料について、県からの委託料を基に、近隣市町と調整を図りながら適正化を図った。	4
	手段の最適性	猟友会及び農会長等と協力し農業被害の防止に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	農作物被害の観点だけでなく、市民の安全安心を確保すべく獣害対策に取り組む必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	市街地での野生動物の出没に備えた対応マニュアルの見直しと庁内共有を図る。

配点	32.5
総合評価	27.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040301020200	事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	環境保全型農業直接支払事業	予算事業名	環境保全型農業直接支払事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課	
施策名(中)		美しい自然環境を保全し、活用する		担当課長	竹本 頼高	
取組み事項		田園を美しく守る		担当者名	坂本 隼人	
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家				
	誰(何)を対象として	農家				
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業分野において、地球温暖化防止や生物多様性保全に貢献するため環境保全効果の高い営農活動への支援を行う。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業分野において、地球温暖化防止や生物多様性保全に貢献するため環境保全効果の高い営農活動への支援を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	取り組み農家数	戸	2	2	2	2

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.012		0		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	435,038	348,426	80	371,112	107	341,992	92	
	事業費	1,850,300	2,177,580	118	2,144,900	98	3,132,000	146	
	合計	2,285,338	2,526,006	111	2,516,012	100	3,473,992	138	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-	1,608,675	-	2,349,000	146	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,285,338	2,526,006	111	907,337	36	1,124,992	124	
合計	2,285,338	2,526,006	111	2,516,012	100	3,473,992	138		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		農家数							
指標説明(式)		環境保全効果の高い営農活動に取り組む農家数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
戸	目標	2	3	150.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	2	2	100.0	2	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

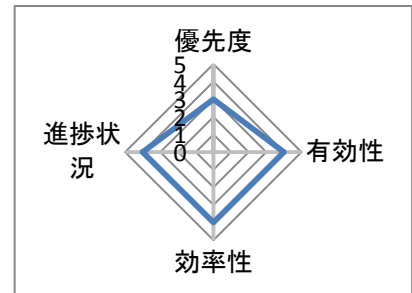
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生市において、申請条件である兵庫県認証エコファーマーの資格をもっている2名の取組みを進めることができた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	有機農業等の取組みの推進により、地域の環境保全の向上がされ、水質汚染の防止が図れた。	
効率性	手段の最適性	有機農業の取組については、労力や採算が悪いなど営農に影響があるため、JA、県と連携してよりよい栽培方法を取り入れる必要があった。	4
	執行体制の効率性	環境保全の農業を推進することは、相生市においてブランド化が期待できるのでJA、県とも連携して普及する必要があった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	事業拡大に向けた地域での連携体制が希薄である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	ブランド化に向け、JA・県・普及センターとの連携強化を図る。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040301030100		事業の種類	3		
年度	29	事務事業名	自然公園管理事業		予算事業名	自然公園管理事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		美しい自然環境を保全し、活用する			担当課長	宇久勝志	担当者名	矢内一夫
取組み事項		相生湾に親しみ、活かす			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		自然保護関係法令						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	国立公園等自然公園						
	意図(どのような状態にしたいのか)	景観や環境の保全に務め、活用を行う。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		自然保護関係法令等の研修及び各関係機関との連絡調整					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	研修会出席	回	0	0	0	0	
	協議会等会費	円	20,000	20,000	20000	20000	

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.188	0.196	104	0.152	78	0.204	134	
	臨時職員		0.080	-	0.028	35	0.020	71	
支出内訳	人件費	1,751,870	2,033,846	116	1,618,000	80	2,019,816	125	
	事業費	22,640	21,940	97	20,000	91	23,000	115	
	合計	1,774,510	2,055,786	116	1,638,000	80	2,042,816	125	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,774,510	2,055,786	116	1,638,000	80	2,042,816	125	
合計	1,774,510	2,055,786	116	1,638,000	80	2,042,816	125		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		国立公園数							
指標説明(式)		相生市内の国立公園数				※瀬戸内海国立公園			
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

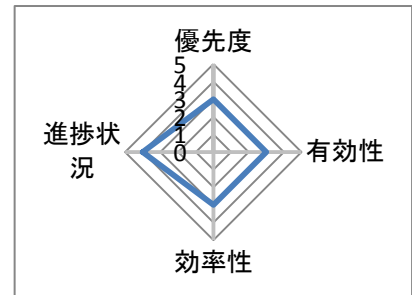
指標名1		会費							
指標説明(式)		年度会費							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	20,000	20,000	100.0	20,000	100.0	20000	100.0	
	実績	20,000	20,000	100.0	20000	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	年度会費の負担による会報冊子の配布。この様な会費負担について見直しが必要。	3
効率性	コストの節減	会費の見直しによるコスト削減	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	国立公園関連の会報冊子等の配布が主なものであるが、国、県など関係部置局との連携を図り、国立公園の活用を考察する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	環境省より講師を招いて、国立公園での事業を実施し、活用をした。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040302010200	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	リサイクル推進事業	予算事業名	リサイクル推進事業 優先度 4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課
施策名(中)		地球温暖化防止に向けた循環型社会を推進する		担当課長	宇久勝志
取組み事項		廃棄物資源の再資源化を推進する		実施計画への記載	無
実施計画事業名				担当者名	大角潤矢
根拠法規及び関連法規				主要事業の指定	無
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	資源ごみ			
	意図(どのような状態にしたいのか)	リサイクルの実践活動による環境意識の向上、及び空き缶の散乱防止等ごみのないきれいなまちづくりを推進する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		デポジット空き缶回収機の運用、資源ごみ集団回収奨励金制度の運用、剪定材再資源化処理業務委託				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	空き缶処理回収機設置台数	台	11	0	0	0
	空き缶処理回収機回収量	kg	52,170	410	0	0
	空き缶回収量(ステーション回収含む)	kg	78,380	53,790	54,750	55,000

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.144	0.116	81	0.180	155	0.224	124	
	臨時職員			-	0.016	-		0	
支出内訳	人件費	1,422,662	1,222,486	86	1,802,496	147	2,121,896	118	
	事業費	4,044,755	3,591,240	89	2,937,862	82	2,970,000	101	
	合計	5,467,417	4,813,726	88	4,740,358	98	5,091,896	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,467,417	4,813,726	88	4,740,358	98	5,091,896	107	
合計	5,467,417	4,813,726	88	4,740,358	98	5,091,896	107		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		空き缶回収機の回収割合							
指標説明(式)		回収機による回収量÷市全体の回収量×100							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	60	0	0.0	0	-	0	-	
	実績	67	0	0.0	0	-			
指標名2		資源ごみ集団回収の回収割合							
指標説明(式)		集団回収量÷市全体の回収量×100 (H23:347,430/1,128,530) (H24:343,626/1,069,496) (H25:303,885/1,000,205)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	33	25	75.8	25	100.0	25	100.0	
	実績	25	21	84.0	25	119.0			

【効率性】

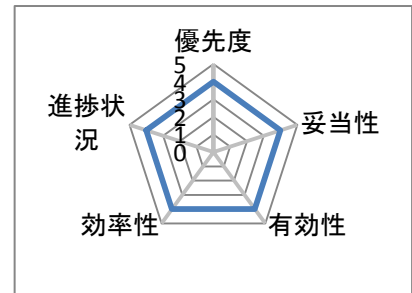
指標名1		空き缶回収機運用収支							
指標説明(式)		缶売却益/維持管理経費 (H23:2,890,989/2,635,582) (H24:2,280,669/2,788,892) (H25:2,035,200/3,666,501)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	1	0	0.0	0	-	0	-	
	実績	0.84	0	0.0	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	空き缶回収機については、老朽化により廃止したが、それに代わる物として、ゲージを置き空き缶をいつでも捨てられるようにした。	4
効率性	負担割合の適正化	空き缶回収機については、老朽化により廃止した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	市役所に設置した資源ごみ総合拠点回収について、利用頻度が高まる中、モラルの低下も見られる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	正しく利用していただけるよう、啓発に努める。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040302020100		事業の種類	5			
年度	29	事務事業名	太陽光パネル補助事業		予算事業名	太陽光パネル補助事業 優先度		-	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部環境課			
施策名(中)		地球温暖化防止に向けた循環型社会を推進する			担当課長	宇久勝志		担当者名	矢内一夫
取組み事項		新エネルギーの利用促進と省エネルギーを推進する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	有
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		相州市住宅用太陽光発電システム設置費補助金交付要綱							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	地球温暖化防止							
	意図(どのような状態にしたいのか)	新エネルギーの導入を促進し、CO2の排出抑制と資源エネルギーの有効活用を図る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		住宅用太陽光発電システムを設置する者に対する補助 最大出力1kWあたり3万円×最大4kw 限度額12万円				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	太陽光発電システム設置助成	件	44	40	38	40

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.200	0.168	84	0.064	38	0.148	231	
	臨時職員			-	0.004	-		0	
支出内訳	人件費	1,841,654	1,614,306	88	875,600	54	1,518,000	173	
	事業費	4,965,000	3,904,000	79	3,751,000	96	4,000,000	107	
	合計	6,806,654	5,518,306	81	4,626,600	84	5,518,000	119	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,806,654	5,518,306	81	4,626,600	84	5,518,000	119	
合計	6,806,654	5,518,306	81	4,626,600	84	5,518,000	119		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		太陽光発電システム設置kW							
指標説明(式)		住宅用太陽光発電システムの設置容量							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
kW	目標	300	300	100.0	250	83.3	250	100.0	
	実績	210.33	195.16	92.8	222.12	113.8			
指標名2		CO2の削減							
指標説明(式)		太陽光発電システム設置に係るCO2の削減							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
t	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	64	59	92.2	67	113.6			

【効率性】

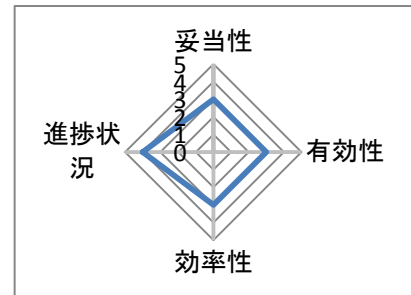
指標名1		助成金額							
指標説明(式)		18年度改定(22年) 補助単価(25,000円(30000円))×kW数(上限100,000円(120000円))							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	8,000,000	5,000,000	62.5	4,000,000	80.0	4,000,000	100.0	
	実績	4,965,000	3,904,000	78.6	3,751,000	96.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	CO2削減の貢献をしている。	3
効率性	負担割合の適正化	設置費用(約50万円/kw)に対して、2.5万円/kwの補助を行っている。上限10万円は、妥当な負担割合である。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	CO2削減の貢献をしていると思われるが、引き続き助成を行うべきか検討する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	平成30年度を以て廃止とすべく、検討する。

配点	32.5
総合評価	14.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040302030100		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	環境施策関連事業		予算事業名	環境施策関連事業		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課			
施策名(中)		地球温暖化防止に向けた循環型社会を推進する		担当課長	宇久勝志		担当者名	大角潤矢
取組み事項		地球環境問題に対する啓発と環境学習を推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	有
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	特に小学生児童						
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生湾の自然に触れ、自然の大切さ、ふるさとに愛着を感じる。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		小学校高学年児童を対象に、相生湾や播磨灘の身近な海自然环境を守り育てる活動として里海づくりを行い、故郷の海について体験型の学習を行う。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	環境日記の参加人数	人	130	0	0	0	
	里海体験学習参加人数	人(延べ)	1,641	1,421	1,086	800	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.640	0.544	85	0.528	97	0.496	94	
	臨時職員			-	0.040	-	0.052	130	
支出内訳	人件費	5,133,734	4,447,466	87	4,551,576	102	4,430,992	97	
	事業費	1,328,282	1,019,200	77	1,050,620	103	1,141,000	109	
	合計	6,462,016	5,466,666	85	5,602,196	102	5,571,992	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,462,016	5,466,666	85	5,602,196	102	5,571,992	99	
合計	6,462,016	5,466,666	85	5,602,196	102	5,571,992	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		環境日記参加人数							
指標説明(式)		環境日記配付者数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	250	0	0.0	0	-	0	-	
	実績	213	0	0.0	0	-			
指標名2		里海体験学習参加人数							
指標説明(式)		里海体験学習参加人数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	600	600	100.0	600	100.0	800	133.3	
	実績	1,641	1,421	86.6	1,086	76.4			

【効率性】

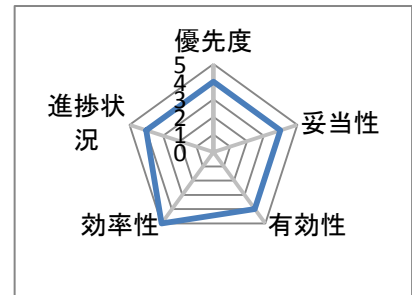
指標名1		参加者割合							
指標説明(式)		環境日記提出者数 ÷ 環境日記配付者数 × 100							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	0	0.0	0	-	0	-	
	実績	61	0	0.0	0	-			
指標名2		参加者割合							
指標説明(式)		事業費(委託料) ÷ 参加者数 (参加者1人当たりのコスト)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,500	1,300	86.7	1,300	100.0	1,000	76.9	
	実績	609	704	115.6	920	130.7			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	専門家の協力により、より質の高い活動となっている。	4
効率性	手段の最適性	年間スケジュールを決め、参加者もクラブ員として固定することで効率よく展開出来ている。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	里海づくりにおける環境学習について、協議会構成員の力量により、市の役割負担が大きく変わってくる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	事業毎に、より詳細な打ち合わせを行うことで市の負担を軽減させていく。

配点	32.5
総合評価	27

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303010100	事業の種類	5
年度	29	事務事業名	ごみ分別収集業務委託事業	予算事業名	ごみ分別収集業務委託事業 優先度
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	無
実施計画事業名				担当者名	森川拓平
根拠法規及び関連法規				主要事業の指定	無
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	自治会			
	意図(どのような状態にしたいのか)	各ステーションのごみの散乱防止及び環境美化を図り、住みよいまちとする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		ごみステーションや地域の拠点等において、効率よく収集業務が行えるよう、また、環境美化を維持するため、自治会へごみ分別業務を委託する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	地区数	地区	130	130	0	0
	世帯数	世帯	13,350	13,311	0	0
	拠点回収場所数	ヶ所	41	40	0	0
	ステーション数	ヶ所	872	876	0	0

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.116	0.120	103		0	0.008	-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,213,166	1,252,626	103	371,112	30	405,560	109	
	事業費	1,999,900	1,007,750	50		0	1,000,000	-	
	合計	3,213,066	2,260,376	70	371,112	16	1,405,560	379	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,213,066	2,260,376	70	371,112	16	1,405,560	379	
合計	3,213,066	2,260,376	70	371,112	16	1,405,560	379		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		委託料							
指標説明(式)		地区割 2,000円/地区 世帯割 50円/世帯							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,006,640	1,010,000	100.3	0	0.0	0	-	
	実績	1,006,400	1,007,750	100.1	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

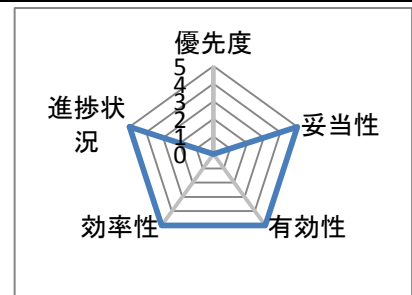
指標名1		1地区当たりの金額							
指標説明(式)		委託料÷地区数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	7,743	7,752	100.1	0	0.0	0	-	廃止
	実績	7,743	7,752	100.1	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業廃止した。	5
効率性	コストの節減	事業廃止したことによる削減。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業廃止とした。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
		-



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
		H28年度をもって廃止とした

配点	32.5
総合評価	22.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303010200		事業の種類	5	
年度	29	事務事業名	ごみ箱等設置補助事業		予算事業名	ごみ箱等設置補助事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志		担当者名 矢内一夫
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		ごみ箱等設置費助成金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	自治会等地域団体					
	意図(どのような状態にしたいのか)	各ステーションのごみの散乱防止及び環境美化を図り、住みよいまちとする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		ごみ箱等の設置に対して、設置事業費の3分の1(上限7万円)を助成する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	設置助成件数	件	5	3	3	5	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.076	0.056	74	0.064	114	0.036	56	
	臨時職員		0.040	-	0.028	70	0.008	29	
支出内訳	人件費	913,886	874,666	96	938,816	107	650,784	69	
	事業費	192,000	148,000	77	95,000	64	350,000	368	
	合計	1,105,886	1,022,666	92	1,033,816	101	1,000,784	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,105,886	1,022,666	92	1,033,816	101	1,000,784	97	
合計	1,105,886	1,022,666	92	1,033,816	101	1,000,784	97		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ごみ箱設置補助金							
指標説明(式)		ごみ箱設置事業費×1/3=助成費(上限70,000円)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	350,000	350,000	100.0	350,000	100.0	350,000	100.0	
	実績	186,000	148,000	79.6	95,000	64.2			
指標名2		ごみネット設置補助金							
指標説明(式)		ごみネット購入費×1/3							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	6,000	0	0.0	0	-			

【効率性】

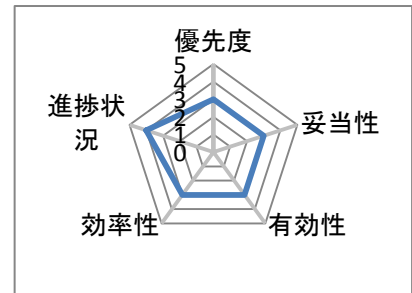
指標名1		ごみ箱設置費用(平均)							
指標説明(式)		事業費 × 3 ÷ 助成件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	150,000	210,000	140.0	210,000	100.0	210,000	100.0	
	実績	115,200	148,000	128.5	95,000	64.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ごみステーションの維持管理等地域の環境美化につながっている。	3
効率性	負担割合の適正化	ごみ箱設置助成に対する負担割合を見直したことにより、経費の節減となった。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	補助額も減少傾向にあるため、ニーズに合っているのか検証する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	引き続き、ニーズに合っているのか検証していく。

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303010300		事業の種類	3		
年度	29	事務事業名	近畿自然歩道事業		予算事業名	近畿自然歩道事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する			担当課長	宇久勝志	担当者名	矢内一夫
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		兵庫県立自然公園条例等の規定						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	近畿自然歩道						
	意図(どのような状態にしたいのか)	歩道の適正な維持管理に努め、通行者が快適に利用し自然公園を満喫する						

2 事業の概要 Do

実施の概要		近畿自然歩道の除草、清掃等維持管理を委託する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	管理委託料	円	352,500	352,500	352,500	352,500
	県補助金(トイレ管理費)	円	206,000	206,000	206,000	206,000

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.148	0.104	70	0.112	108	0.124	111	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,452,590	1,132,066	78	1,235,528	109	1,327,296	107	
	事業費	352,500	352,500	100	352,500	100	359,000	102	
	合計	1,805,090	1,484,566	82	1,588,028	107	1,686,296	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,805,090	1,484,566	82	1,588,028	107	1,686,296	106	
合計	1,805,090	1,484,566	82	1,588,028	107	1,686,296	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		管理委託							
指標説明(式)		除草面積							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
m ²	目標	3,580	3,580	100.0	3,580	100.0	3580	100.0	
	実績	3,580	3,580	100.0	3580	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

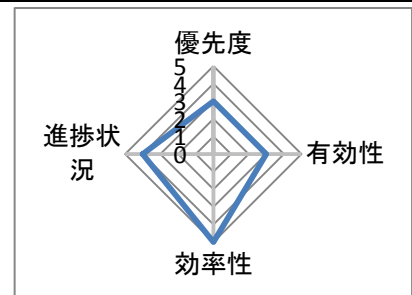
指標名1		除草1㎡に係るコスト							
指標説明(式)		委託料÷除草面積							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	42.6	42.6	100.0	42.6	100.0	42.6	100.0	
	実績	42.6	42.6	100.0	42.6	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	良好な維持管理・保全に努め、利用者の便利、普及に努めた。	3
効率性	手段の最適性	各自治会への委託業務であり、地元管理で手段としては最適である。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	台風、豪雨等で、一部通行が困難で危険な箇所がある。県等関係機関と協議をし、改修の必要性、方法を検討する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	改修、場合によっては閉鎖を視野に入れ利用者の安全、利便、普及に努める

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303010400	事業の種類	9
年度	29	事務事業名	清掃総務費事務経費	予算事業名	清掃総務費事務経費 優先度
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課	
施策名(中)	クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	
取組み事項	ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	主要事業の指定	
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	清掃業務			
	意図(どのような状態にしたいのか)	廃棄物処理等清掃業務の円滑な推進			

2 事業の概要 Do

実施の概要		県等都市清掃事務協議会による情報の交換を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	県都市清掃会議への出席	回	3	4	4	4
	保衛連への出席	回	-	-	-	-

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.228	0.316	139	0.592	187	0.448	76	
	臨時職員	0.020	0.140	700	0.216	154	0.172	80	
支出内訳	人件費	2,101,530	3,094,466	147	5,509,112	178	4,390,624	80	
	事業費	424,326	951,727	224	689,581	72	795,000	115	
	合計	2,525,856	4,046,193	160	6,198,693	153	5,185,624	84	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,525,856	4,046,193	160	6,198,693	153	5,185,624	84	
合計	2,525,856	4,046,193	160	6,198,693	153	5,185,624	84		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		県都市清掃会議への出席回数							
指標説明(式)		県都市清掃会議への出席回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	4	4	100.0	4	100.0	4	100.0	
	実績	3	4	133.3	4	100.0			
指標名2		保衛連への出席回数							
指標説明(式)		保衛連への出席回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-			

【効率性】

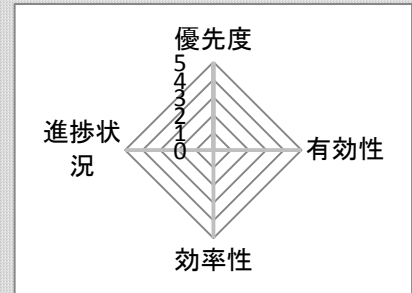
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	県都市清掃事務協議会については、内容も充実しており、担当者同士の交流も図れ、意義のある会議となっている。	
効率性	コストの節減	保健衛生組織連合会においては、内容を含め参加について検討する必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303010600	事業の種類	9
年度	29	事務事業名	塵芥処理費事務経費	予算事業名	塵芥処理費事務経費 優先度
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課	
施策名(中)	クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名 森川拓平
取組み事項	ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	主要事業の指定	
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	ごみを排出する市民			
	誰(何)を対象として	ごみを排出する市民			
	意図(どのような状態にしたいのか)	指定する分別により指定された日にごみを排出する			

2 事業の概要 Do

実施の概要		ごみの収集日をお知らせする市民カレンダーを作成する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	市民カレンダーの発行	部	15,150	15,150	14900	15000

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.328	0.424	129	0.536	126	0.424	79	
	臨時職員	0.030	0.030	100	0.076	253	0.036	47	
支出内訳	人件費	2,874,920	3,621,476	126	4,708,144	130	3,813,408	81	
	事業費	1,138,776	1,026,013	90	2,257,714	220	1,926,000	85	
	合計	4,013,696	4,647,489	116	6,965,858	150	5,739,408	82	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,013,696	4,647,489	116	6,965,858	150	5,739,408	82	
合計	4,013,696	4,647,489	116	6,965,858	150	5,739,408	82		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民カレンダーの発行							
指標説明(式)		市民カレンダーの発行部数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
部	目標	15,500	15,150	97.7	15,150	100.0	15000	99.0	
	実績	15,150	15,150	100.0	14900	98.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

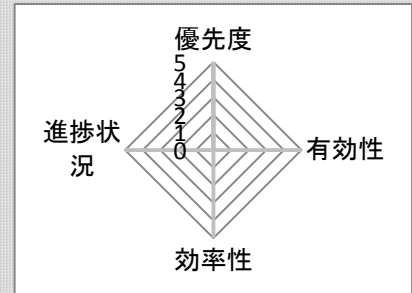
指標名1		市民カレンダーの発行費用							
指標説明(式)		市民カレンダーの発行費用							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標		808,000	-	1,173,600	145.2	1126937	96.0	
	実績	636,660	539,784	84.8	984831	182.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	市内を4地区に分けた収集に合せたカレンダーを作成し、配付した。	
効率性	コストの節減	紙面の内容を工夫することで、他課の補助を有効に活用し、コスト削減に努めた。	
	手段の最適性	日々確認するカレンダーを基本とし、また、紙面として配付することにより、ごみの排出日を確認することができ、誤った排出を防ぐための最善の方法である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303010700		事業の種類	4				
年度	29	事務事業名	塵芥収集事業		予算事業名	塵芥収集事業		優先度	3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部環境課				
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する			担当課長	宇久勝志		担当者名	森川拓平	
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名		廃棄物収集運搬・処理事業								
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民								
	誰(何)を対象として	家庭系塵芥								
	意図(どのような状態にしたいのか)	分別収集をすることにより、ごみの減量化、資源化が図れ、ごみ減量の実践と環境意識を高め、環境保全・環境美化・住みよいまちとなる。								

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域の生活環境を保全するため、ごみステーションの適正化を図るとともに、分別排出されたごみを適正かつ効率的に収集する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	可燃ごみ収集量	t	4,695	4,555	4,453	4,500
	資源ごみ収集量	t	1,093	989	909	895
	粗大ごみ収集量	t	314	288	307	300
	不燃ごみ収集量	t				

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	15.532	12.560	81	14.336	114	12.948	90	
	臨時職員	5.030	7.030	140	5.380	77	6.888	128	
支出内訳	人件費	129,226,248	113,315,236	88	125,187,280	110	122,802,496	98	
	事業費	44,673,590	46,741,814	105	47,395,006	101	45,914,000	97	
	合計	173,899,838	160,057,050	92	172,582,286	108	168,716,496	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	173,899,838	160,057,050	92	172,582,286	108	168,716,496	98	
	合計	173,899,838	160,057,050	92	172,582,286	108	168,716,496	98	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		特別収集							
指標説明(式)		自治会等が行う地区清掃によるごみの収集(件数)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	100	100	100.0	100	100.0	110	110.0	
	実績	101	92	91.1	119	129.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

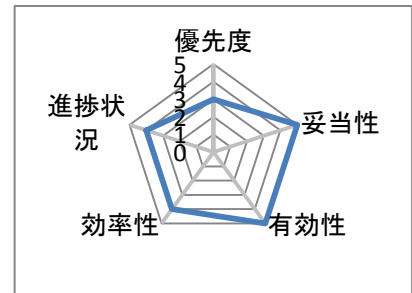
指標名1		人口1人当たりの経費							
指標説明(式)		収集経費÷人口							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4,389	4,500	102.5	4,500	100.0	4500	100.0	
	実績	4,441	3,969	89.4	4176	105.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ごみステーションに番号を付けることにより、地域の美化及び自治会等ステーション管理者による保全管理と適正な分別の徹底が図れた。	5
効率性	コストの節減	職員定数を確保し、収集業務の一部民間委託を実施している。収集コースの見直しを行い、効率化を図りコスト削減に努めた。(収集車の燃料費、消耗品費等の経費削減)	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	さらなる収集経費の削減について、考察する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	収集経路などを見直し、より効率的な収集を行うとともに、車両等の適正な維持管理を行い、経費の削減に努める。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303010800	事業の種類	1
年度	29	事務事業名	美化センター管理運営事業	予算事業名	美化センター管理運営事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	有
実施計画事業名		美化センター焼却炉等更新工事 相生市美化センター更新事業		主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	美化センター施設			
	意図(どのような状態にしたいのか)	ごみ焼却施設の維持管理に努め、分別収集によるごみ減量、資源化の促進を図ることにより、安全で安定したゴミ処理施設とする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		ごみ焼却施設の維持管理を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	焼却稼働日数	日	244	248	246	233
	搬入量	t	10,377	9,947	10126	9968
	焼却量	t	8,408	8,279	8356	8310

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	1.824	1.932	106	1.868	97	1.332	71	
	臨時職員	0.160	0.160	100	0.564	353	0.484	86	
支出内訳	人件費	14,395,462	15,323,166	106	16,273,912	106	12,301,592	76	
	事業費	379,994,766	283,257,306	75	218,085,413	77	210,011,000	96	
	合計	394,390,228	298,580,472	76	234,359,325	78	222,312,592	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	394,390,228	298,580,472	76	234,359,325	78	222,312,592	95	
合計	394,390,228	298,580,472	76	234,359,325	78	222,312,592	95		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民1人が1日に出すごみ量							
指標説明(式)		家庭ごみ量÷人口							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
g	目標	600	610	101.7	600	98.4	600	100.0	
	実績	619	589	95.2	581	98.6			
指標名2		事業系ごみ							
指標説明(式)		排出ごみ量							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
kg	目標	3,715	3,100	83.4	3,100	100.0	3100	100.0	
	実績	3,063	3,107	101.4	3188	102.6			

【効率性】

指標名1		家庭系ごみ1kgあたりの処理経費							
指標説明(式)		家庭系ごみ処理費÷家庭系総ごみ量							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	62.7	64.0	102.1	64.0	100.0	64.0	100.0	
	実績	64.4	64.2	99.7	64.5	100.5			

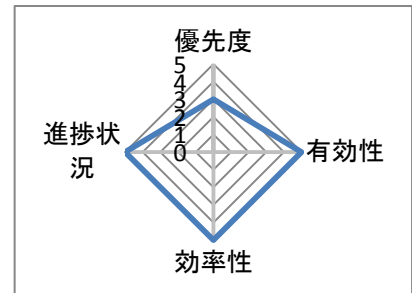
指標名2		事業系ごみ1kgあたりの処理経費							
指標説明(式)		事業系ごみ処理費÷事業系総ごみ量							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	43.0	43.0	100.0	43.0	100.0	43.0	100.0	
	実績	43.7	43.2	98.9	44.0	101.9			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	市民生活に欠かせない事業として貢献している。	5
効率性	コストの節減	施設の維持管理等、収集計画、処理計画をたて、適正な管理運営を図り経費削減に努めた。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	適切な施設の維持管理に努め、コスト削減に努める必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	日々の点検等を行い、施設の延命化に努めた。

配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303010900	事業の種類	1
年度	29	事務事業名	最終処分場管理運営事業	予算事業名	最終処分場管理運営事業 優先度
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	担当者名 森川拓平
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	最終処分場			
	意図(どのような状態にしたいのか)	ごみの減量・減容化に努め、最終処分場の延命を図ると共に長寿命化に対応する適正管理に努める			

2 事業の概要 Do

実施の概要		不燃ごみの埋立てのための施設の維持管理を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	埋立処理場	t	987	844	883	1000

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.888	0.868	98	0.404	47	0.364	90	
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.096	240	0.156	163	
支出内訳	人件費	7,090,030	6,993,086	99	3,742,048	54	3,677,688	98	
	事業費	9,336,915	33,264,263	356	2,361,814	7	9,968,000	422	
	合計	16,426,945	40,257,349	245	6,103,862	15	13,645,688	224	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	16,426,945	40,257,349	245	6,103,862	15	13,645,688	224	
合計	16,426,945	40,257,349	245	6,103,862	15	13,645,688	224		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		最終処分場残容量率							
指標説明(式)		1-埋立量÷全体容量(86,000m ³)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	38	37	97.4	36	97.3	35	97.2	
	実績	38	37	97.4	36	97.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

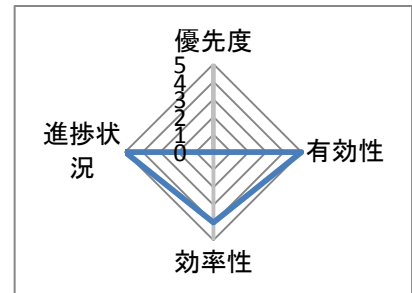
指標名1		維持管理経費							
指標説明(式)		維持管理経費÷埋立量(t)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	20,057	60,439	301.3	7000	11.6	13646	194.9	
	実績	15,265	60,439	395.9	6913	11.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市民の排出する不燃ごみの埋立処理を安定かつ適正に処理していることで埋立処理の減容化となり、最終処分場の延命化が図れた。	5
効率性	コストの節減	分別の徹底、施設の日々点検等によりコスト削減が図れた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	埋め立てごみについて、徹底した分別に努め延命化を図るとともに、遮水シート、排水施設についても維持管理に努める。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	美化センター延命期間後についても、安定して利用できるよう、埋め立て物を含め、徹底して管理を行う。

配点	25
総合評価	14

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303011000		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	粗大ごみ処理事業		予算事業名	粗大ごみ処理事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志		担当者名 森川拓平
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	粗大ごみ					
	意図(どのような状態にしたいのか)	粗大ごみと資源ごみを適正に分別し、効率的な収集と適正処理に努める。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		粗大ごみの中間処理委託及びペットボトル・容器包装プラスチック・食品トレイ等の拠点回収を委託する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	粗大ごみ処理量	t	310	299	301	300
	拠点回収量	t	186	184	176	180

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.460	0.452	98	0.460	102	0.540	117	
	臨時職員			-	0.104	-	0.340	327	
支出内訳	人件費	3,786,974	3,754,246	99	4,195,328	112	5,599,112	133	
	事業費	13,429,438	12,306,421	92	12,909,472	105	13,432,000	104	
	合計	17,216,412	16,060,667	93	17,104,800	107	19,031,112	111	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	17,216,412	16,060,667	93	17,104,800	107	19,031,112	111	
合計	17,216,412	16,060,667	93	17,104,800	107	19,031,112	111		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		中間処理経費							
指標説明(式)		中間処理委託料							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	13,621,000	13,432,000	98.6	12,706,200	94.6	12,706,200	100.0	
	実績	12,749,136	11,870,814	93.1	11,942,106	100.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

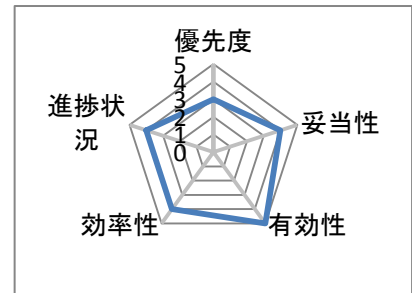
指標名1		粗大ごみ1kgあたりの処理料							
指標説明(式)		委託料÷処理量							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	42	40.0	95.2	40.0	100.0	40.0	100.0	
	実績	41.1	39.7	96.6	39.7	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	各量販店、公民館等に設置している分別ケースによる拠点回収は、市民サービスに多大な貢献をしている。	5
効率性	コストの節減	ごみの分別の徹底、また、職員による粗大ごみの再分別により、処理経費のコスト削減が図れた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	公共性	法改正により、水銀を含む体温計、蛍光灯などを分別して収集し、処分する必要が発生した。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	平成30年度より水銀を含む廃棄物について、分別収集することとし、その体制を検討した。

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303011100		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	ごみ有料化事業		予算事業名	ごみ有料化事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する			担当課長	宇久勝志	担当者名	矢内一夫
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則並びに相生市指定ごみ袋等取扱要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	家庭系ごみ						
	意図(どのような状態にしたいのか)	ごみ袋の有料化による、ごみ量の削減とリサイクルの推進						

2 事業の概要 Do

実施の概要		指定ごみ袋・シール券の作成及び販売店への手数料の支払い事業を行う。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	ごみ袋出荷枚数(大)	枚	274800	277,200	280800	280000	
	ごみ袋出荷枚数(中)	枚	536900	495,600	524300	524000	
	ごみ袋出荷枚数(小)	枚	274000	266,000	270000	270000	
	シール券出荷枚数	枚	44440	40,990	43130	43000	

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.392	0.412	105	0.408	99	0.220	54	
	臨時職員	0.320	0.320	100	0.184	58	0.132	72	
支出内訳	人件費	4,084,278	4,287,086	105	4,004,712	93	2,465,256	62	
	事業費	24,578,219	22,298,364	91	21,854,006	98	24,986,000	114	
	合計	28,662,497	26,585,450	93	25,858,718	97	27,451,256	106	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	28,662,497	26,585,450	93	25,858,718	97	27,451,256	106	
合計	28,662,497	26,585,450	93	25,858,718	97	27,451,256	106		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ごみ袋購入経費							
指標説明(式)		ごみ袋作成費、配達・保管等維持管理料及び集計事務含む							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	20,059,920	20,700,000	103.2	19,057,572	92.1	20487276	107.5	
	実績	19,057,572	19,028,260	99.8	18427046	96.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

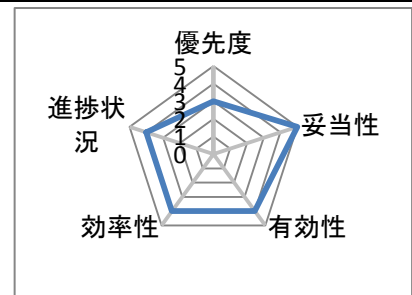
指標名1		ごみ袋1枚あたりの経費(大・中・小平均)							
指標説明(式)		ごみ袋購入代金÷購入枚数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	16.1	16.8	104.3	16.0	95.2	16.7	104.4	
	実績	16.8	15.5	92.3	16.6	107.1			
指標名2		ごみ処理費負担率(売上高÷ごみ収集処理経費)							
指標説明(式)		収益(売上高)÷家庭系(収集・中間・処理)経費							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	9.3	9.5	102.2	9.5	100.0	9.5	100.0	
	実績	8.9	8.9	100.0	8.9	100.0			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	市内60か所以上の店舗で、ごみ袋等の販売を行い、市民が購入しやすいようサービスを行っている。	4
効率性	コストの節減	ごみ袋の適正管理に努め、無駄な在庫がないようにし、コスト削減を図る。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	負担割合の適正化	経費、事業費などのバランスを考慮しながら手数料を見直す必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	負担割合の適正化	手数料の見直しについては、住民生活に直結するものであり、慎重に行う必要がある。

配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303011200	事業の種類	1
年度	29	事務事業名	リサイクルセンター管理運営事業	予算事業名	リサイクルセンター管理運営事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		実施計画への記載	無
実施計画事業名		リサイクルセンター・最終処分場長寿命化事業		担当者名	森川拓平
実施計画事業名				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	資源ごみ			
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正なごみの分別により、リサイクルを推進する。また、リサイクルセンターの長寿命化に対応する計画的な修繕を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		資源ごみの中間処理を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	資源ごみ搬入量	t	1,314	1,236	1162	1200
	リサイクル量	t	1,653	1,359	1321	1350

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	2.404	2.420	101	1.444	60	1.396	97	
	臨時職員	0.020	0.040	200	2.140	5,350	2.380	111	
支出内訳	人件費	18,382,362	18,687,406	102	17,152,664	92	18,198,568	106	
	事業費	5,398,311	9,397,389	174	30,704,613	327	12,711,000	41	
	合計	23,780,673	28,084,795	118	47,857,277	170	30,909,568	65	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	23,780,673	28,084,795	118	47,857,277	170	30,909,568	65	
合計	23,780,673	28,084,795	118	47,857,277	170	30,909,568	65		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		リサイクル率							
指標説明(式)		資源化量÷総処理量							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	16	14	87.5	13	92.9			
指標名2		量販店・公民館等による拠点回収							
指標説明(式)		回収量							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
t	目標	200	200	100.0	200	100.0	200	100.0	
	実績	186	184	98.9	176	95.7			

【効率性】

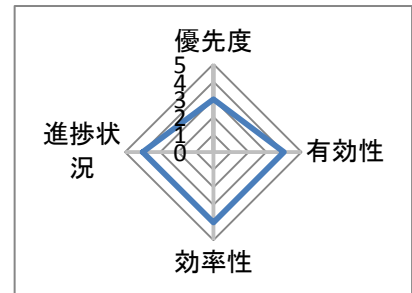
指標名1		資源ごみ1kgに係る処理経費							
指標説明(式)		処理費÷資源ごみ搬入量(t)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	16.3	19.5	119.6	41.2	211.3			
指標名2		新聞売却							
指標説明(式)		新聞売却単価(税抜き)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	17.5	17.0	97.1	17.0	100.0	23	135.3	
	実績	17.0	17.0	100.0	23	135.3			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	リサイクル率の向上に向け、回収方法等の検討が必要である。	4
	市民サービス	資源ごみの回収は月1回のため、量販店等による資源ごみ回収拠点の整備を図り市民サービスに努めている。	
効率性	コストの節減	事業系ごみ分別の徹底を図りコスト削減に努める。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画的に進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化に伴い、機器の補修、更新が必要となっている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	日々の点検を徹底して行い、必要最小限の補修で済むように努めた。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303011300		事業の種類	4		
年度	29	事務事業名	環境クリーン事業		予算事業名	環境クリーン事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する			担当課長	宇久勝志	担当者名	矢内一夫
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	投棄ごみ						
	意図(どのような状態にしたいのか)	道路、河川、公園等に不法投棄された廃棄物の回収処理により、ごみのないきれいなまちづくりに努める。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		不法投棄の対策として、また、環境美化への啓発として、不法投棄パトロールの実施及び不法投棄物の回収業務を委託する。					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	不法投棄による廃棄物処理	kg	6,410	7,000	6380	6500	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.352	0.300	85	0.208	69	0.228	110	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,978,918	2,608,926	88	1,976,456	76	2,153,680	109	
	事業費	2,944,512	2,799,360	95	2,842,128	102	2,810,000	99	
	合計	5,923,430	5,408,286	91	4,818,584	89	4,963,680	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,923,430	5,408,286	91	4,818,584	89	4,963,680	103	
合計	5,923,430	5,408,286	91	4,818,584	89	4,963,680	103		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		環境クリーン委託経費							
指標説明(式)		環境クリーン委託経費							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2,944,512	2,799,360	95.1	2,842,128	101.5	2809728	98.9	
	実績	2,944,512	2,799,360	95.1	2842128	101.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

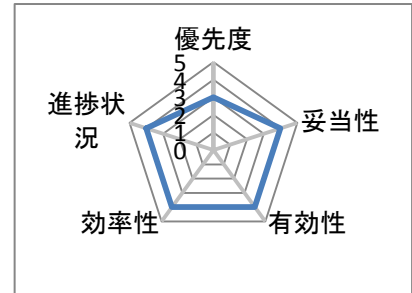
指標名1		処理量1kgあたりの経費							
指標説明(式)		環境クリーン業務委託料÷処理量(不法投棄処理分)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	490	460	93.9	460	100.0	432	93.9	
	実績	436	400	91.7	445	111.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	市内の環境美化が図られている。	4
効率性	手段の最適性	不法投棄が増加する中、市内パトロールにより市内の環境美化の啓発と処理について最適な手段である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通り進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	不法投棄処理により、街の環境美化は図られている。パトロールルートの見直しなどを行い、コストの削減をしたい。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	ルートの見直し、業務の見直しを行い、コストの削減を図る。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303011400	事業の種類	4
年度	29	事務事業名	ガラス工房運営事業	予算事業名	ガラス工房運営事業 優先度 -
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志
取組み事項		ごみの適正な処理を推進する		担当者名	森川拓平
実施計画事業名				実施計画への記載	無
根拠法規及び関連法規		主要事業の指定			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	リサイクル推進の啓蒙			
	意図(どのような状態にしたいのか)	循環型社会づくりの環境学習の一環として、リサイクルの現場に触れ、廃ガラスから作品を作り上げる工程を体験することで、再生の喜びと環境への意識を深めることを目的とする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生すりばち山ガラス工房として各小学校へガラス工作を出前で行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	ガラス工房教室開催回数	回	97	4	1	
	ガラス工房教室参加人数	人	402	112	62	
	ガラス工房イベント参加回数	回	12	1	1	
	ガラス工房イベント参加人数	人	513	112	62	

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.120	0.088	73	0.036	41	0.028	78	
	臨時職員	0.440	0.100	23	0.040	40	0.020	50	
支出内訳	人件費	2,351,454	1,272,206	54	754,320	59	621,320	82	
	事業費	3,490,336	27,502	1	200,000	727	100,000	50	
	合計	5,841,790	1,299,708	22	954,320	73	721,320	76	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,841,790	1,299,708	22	954,320	73	721,320	76	
合計	5,841,790	1,299,708	22	954,320	73	721,320	76		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		体験学習							
指標説明(式)		教室参加人数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	400	200	50.0	440	220.0	400	90.9	
	実績	402	224	55.7	62	27.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

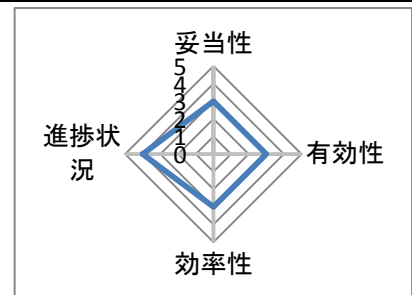
指標名1		体験学習開催日数							
指標説明(式)		教室開催日数+イベント参加回数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
回	目標	120	7	5.8	8	114.3	8	100.0	
	実績	143	5	3.5	2	40.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	幼稚園へのリサイクル出前講座とすることで、リサイクルの必要性について認識を高めることが出来た。	3
効率性	コストの節減	委託事業を廃止し、さらなるコスト削減を行った。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業縮小に向け、計画通り縮小している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	事業の妥当性、有効性を検証する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	縮小したが、廃止について検討する。

配点	32.5
総合評価	14.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303020100		事業の種類	1		
年度	29	事務事業名	し尿収集事業		予算事業名	し尿収集事業		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課			
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志		担当者名	森川拓平
取組み事項		し尿の適正な処理をする		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	衛生環境						
	意図(どのような状態にしたいのか)	安定したし尿収集により地域の衛生環境の保全を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		し尿収集事業					
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画	
	し尿収集量	kl	631	513	364	300	
	取扱店	件	4	4	4	4	
	売りさばき手数料	%	3	3	3	3	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	2.080	2.180	105	2.060	94	2.164	105	
	臨時職員			-	0.048	-	0.072	150	
支出内訳	人件費	15,907,814	16,774,726	105	16,396,624	98	17,741,760	108	
	事業費	1,249,683	1,211,395	97	1,006,092	83	1,182,000	117	
	合計	17,157,497	17,986,121	105	17,402,716	97	18,923,760	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	17,157,497	17,986,121	105	17,402,716	97	18,923,760	109	
合計	17,157,497	17,986,121	105	17,402,716	97	18,923,760	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		全世帯に対するし尿収集世帯の割合							
指標説明(式)		収集世帯数 ÷ 全世帯数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	2.4	2.4	100.0	2.0	83.3	1.5	75.0	
	実績	2.4	1.7	70.8	1.6	94.1			
指標名2		販売店によるし尿券の取扱い							
指標説明(式)		取扱枚数(単位:1000円券、100L)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
枚	目標	480	480	100.0	50	10.4	200	400.0	
	実績	286	50	17.5	194	388.0			

【効率性】

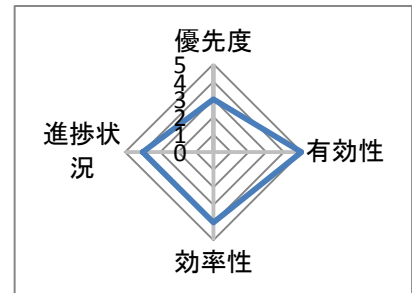
指標名1		1戸当たりの収集経費							
指標説明(式)		経費÷収集戸数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	40,000	40,000	100.0	40,000	100.0	85000	212.5	
	実績	36,082	57,172	158.5	79828	139.6			
指標名2		経費と収益の割合							
指標説明(式)		し尿処理経費÷し尿に係る収益							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	180	150	83.3	150	100.0	300	200.0	
	実績	127	170	133.9	292	171.8			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	し尿収集は、水洗化を図りずらい世帯の受け皿であり、市民生活に重要な貢献をしている。	5
効率性	コストの節減	水洗化の普及に伴い収集量は減少しているが、効率性を考慮し、収集計画を立てコスト削減に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	わずかではあるが、汲み取り件数も減少している中で、現体制で業務を継続していくのか検討する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	汲み取り実施日を見直し、コスト縮減に努めた。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303040100		事業の種類	3	
年度	29	事務事業名	大気汚染常時監視網管理運営事業		予算事業名	大気汚染常時監視網管理運営事業	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課		
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志	担当者名	矢内一夫
取組み事項		環境汚染防止対策を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市民の住みよい環境をまもる条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	大気汚染					
	意図(どのような状態にしたいのか)	自動車排ガスの削減等大気環境の改善をはかり住みよいまちとする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		大気環境監視局測定管理委託				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	大気環境監視委託	円	1,447,200	1,620,000	1,620,000	1,620,000

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.100	0.100	100	0.100	100	0.080	80	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,093,454	1,101,926	101	1,142,912	104	977,672	86	
	事業費	1,877,369	2,039,890	109	2,050,919	101	2,087,000	102	
	合計	2,970,823	3,141,816	106	3,193,831	102	3,064,672	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,970,823	3,141,816	106	3,193,831	102	3,064,672	96	
合計	2,970,823	3,141,816	106	3,193,831	102	3,064,672	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ハイブリッド車、電気自動車の数							
指標説明(式)		公用車台数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
台	目標	4	4	100.0	4	100.0	4	100.0	
	実績	4	4	100.0	4	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

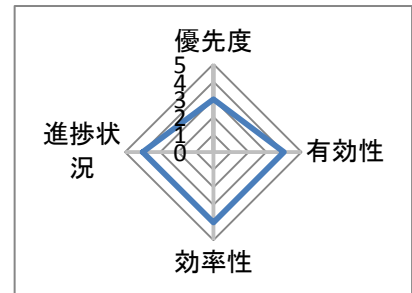
指標名1		公害監視センター測定局管理委託金の歳出/歳入							
指標説明(式)		公害監視センター測定局管理委託金の歳出/歳入							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	75	84	112.0	84	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	環境影響調査等実施し、生活環境の改善に重要な貢献をしている。	4
効率性	負担割合の適正化	施設、機器の運営費は県からの委託金で賄えている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	兵庫県からの委託料で設備等の維持管理を行っており、引き続き適正な管理に努める。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	引き続き適正な維持管理に努める。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303040200		事業の種類	1			
年度	29	事務事業名	水質汚濁調査運営事業		予算事業名	水質汚濁調査運営事業 優先度		3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部環境課			
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する			担当課長	宇久勝志		担当者名	矢内一夫
取組み事項		環境汚染防止対策を推進する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		相生市民の住みよい環境をまもる条例							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	水質汚染							
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内の河川及び相生湾等の水質測定を実施し、環境保全に努め住みよいまちとする。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内主要河川7地点及び相生湾の水質測定を実施。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	水質分析委託	円	1,508,544	1,432,944	1,611,144	1737000

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.160	0.160	100	0.160	100	0.140	88	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,542,374	1,554,026	101	1,605,992	103	1,454,432	91	
	事業費	1,523,184	1,447,584	95	1,631,184	113	2,178,280	134	
	合計	3,065,558	3,001,610	98	3,237,176	108	3,632,712	112	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,065,558	3,001,610	98	3,237,176	108	3,632,712	112	
合計	3,065,558	3,001,610	98	3,237,176	108	3,632,712	112		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		水質測定							
指標説明(式)		水質測定地点(河川、相生湾)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
地点	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
	実績	10	10	100.0	10	100.0			
指標名2		水質汚濁							
指標説明(式)		苦情件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標	0	0	-		-		-	
	実績	6		0.0		-		-	

【効率性】

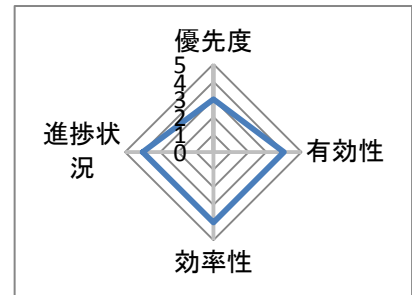
指標名1		水質分析委託料							
指標説明(式)		水質分析委託料							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1,508,544	1,500,000	99.4	1,500,000	100.0	1,600,000	106.7	
	実績	1,508,544	1,432,944	95.0	1,611,144	112.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	定点で季節ごとに水質環境の変化を常時監視することにより、環境の保全活動が行えている。	4
効率性	コストの節減	委託業者と水質測定日等を細かく調整し、無駄のない対応をした。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	公共性	継続して常時監視を続け、水質の変化を監視しつつ、業務内容については常に検討していきたい。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	公共性	測定箇所、測定回数など、適正かどうか検討していく。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303040300		事業の種類	3	
年度	29	事務事業名	公害行政推進事業		予算事業名	公害行政推進事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部環境課	
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志 担当者名 矢内一夫		
取組み事項		環境汚染防止対策を推進する		実施計画への記載	主要事業の指定		
実施計画事業名		PCB廃棄物処理事業					
根拠法規及び関連法規		相生市民の住みよい環境をまもる条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	公害行政					
	意図(どのような状態にしたいのか)	環境保全活動の推進を図ることにより、市民が快適に生活できるようにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		環境保全審議会の運営、騒音振動監視事業、公害環境指導				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	環境監視員活動	件	31	42	71	80
	騒音・振動測定委託	円	1,306,800	1,404,000	1306800	1566000
	特定建設作業届	件	207	92	84	100

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.344	0.248	72	0.332	134	0.372	112	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,919,062	2,217,106	76	2,933,488	132	3,297,904	112	
	事業費	8,792,380	2,117,120	24	2,107,268	100	3,131,720	149	
	合計	11,711,442	4,334,226	37	5,040,756	116	6,429,624	128	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	11,711,442	4,334,226	37	5,040,756	116	6,429,624	128	
合計	11,711,442	4,334,226	37	5,040,756	116	6,429,624	128		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		環境保全事業							
指標説明(式)		苦情処理件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	80	80	100.0	70	87.5	70	100.0	
	実績	75	50	66.7	77	154.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

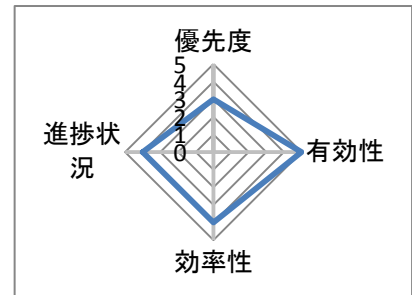
指標名1		環境監視員1人あたりの活動報告件数							
指標説明(式)		活動報告件数÷環境監視員数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	7	7	100.0	7	100.0	7	100.0	
	実績	3	5	166.7	7	140.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	公害苦情処理に対してもスピーディーな対応により処理している。	5
効率性	コストの節減	住民への啓発に努め、コスト削減を図った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	野焼きについて、これまで苦情が無かった地域から苦情が出るようになり、また閉庁時でも警察からの立会い要請があるなど、対応に苦慮している。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	対応せざるを得ない状況であるが、地域の住民間での感情のすれ違いが原因のものもあり、地域内で解決できる方法を模索している。

配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040303050100		事業の種類	1		
年度	29	事務事業名	畜犬登録事業		予算事業名	畜犬登録事業		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課			
施策名(中)		クリーンなまちづくりを推進する		担当課長	宇久勝志		担当者名	矢内一夫
取組み事項		動物愛護を推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		狂犬病予防法、相生市民の住みよい環境をまもる条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	畜犬						
	意図(どのような状態にしたいのか)	飼い犬の新規登録及び狂犬病予防注射の受診により犬のしつけ、マナー等の意識向上及び生活環境の健全化を図り住みよいまちとする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		犬の登録、狂犬病予防注射の実施				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	登録件数	件	1,569	1,542	1,517	1,520
	新規登録	件	89	56	98	100
	狂犬病予防注射済	件	927	1,214	914	1,000
	集合注射日数	日	4	4	4	4

3 投入資源

		会計区分			一般会計		事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.160	0.144	90	0.080	56	0.108	135	
	臨時職員	0.300	0.320	107	0.216	68	0.200	93	
支出内訳	人件費	2,298,074	2,267,706	99	1,557,496	69	1,768,560	114	
	事業費	799,592	346,326	43	325,625	94	437,000	134	
	合計	3,097,666	2,614,032	84	1,883,121	72	2,205,560	117	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,097,666	2,614,032	84	1,883,121	72	2,205,560	117	
合計	3,097,666	2,614,032	84	1,883,121	72	2,205,560	117		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		集合注射日程							
指標説明(式)		集合注射実施日							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	4	4	100.0	4	100.0	4	100.0	
	実績	4	4	100.0	4	100.0			
指標名2		集合注射受診の割合							
指標説明(式)		集合注射受診件数÷注射済件数×100							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	50	50	100.0	50	100.0	50	100.0	
	実績	22	24	109.1	26	108.3			

【効率性】

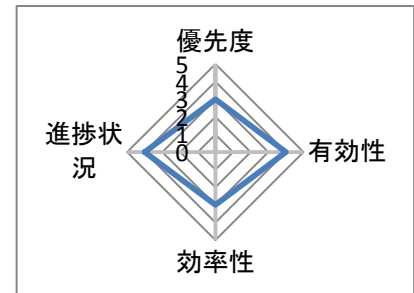
指標名1		注射受診割合							
指標説明(式)		注射受診件数÷登録件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
日	目標	65	60	92.3	60	100.0	65	108.3	
	実績	59.1	77	130.3	60.2	78.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	公衆衛生上、犬の登録、狂犬病予防注射は必要である。	4
効率性	手段の最適性	集合注射は必要と考えるが、年々受診件数が減ってきている。実施のあり方を検討する必要がある。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	集合注射は必要と考えるが、実施方法等について検討する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	過去の状況より、集団注射の場所の統合などを行い、効率化を図った。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040304010100		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	葬儀事業		予算事業名	葬儀事業	
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部環境課			
施策名(中)	斎場・墓地の適正な管理に努める		担当課長	宇久勝志		担当者名	矢内一夫
取組み事項	斎場の適正管理に努める		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市ささゆり苑に関する条例および施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	自宅葬儀					
	意図(どのような状態にしたいのか)	自宅等での葬儀において、利用者の利便性を高め、円滑な葬儀の運営を支援する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		葬儀に使用する消耗品の購入、保管及び祭壇等の運搬・撤収等を委託する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	棺の使用	本	143	104	126	130
	祭壇の利用	件	11	1	6	5
	葬儀祭壇等業務委託	円	428,716	334,159	347,943	681,480
	運搬件数	件				

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.132	0.132	100	0.088	67	0.172	195	
	臨時職員	0.020	0.040	200	0.024	60	0.012	50	
支出内訳	人件費	1,383,258	1,447,326	105	1,113,512	77	1,742,808	157	
	事業費	3,240,240	1,986,453	61	2,461,483	124	3,468,000	141	
	合計	4,623,498	3,433,779	74	3,574,995	104	5,210,808	146	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,623,498	3,433,779	74	3,574,995	104	5,210,808	146	
合計	4,623,498	3,433,779	74	3,574,995	104	5,210,808	146		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		自宅等での葬儀の割合							
指標説明(式)		祭壇の使用件数÷葬儀件数(火葬件数)							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	2.7	0.2	7.4	0.2	100.0			
指標名2		霊柩車運転業務委託事業							
指標説明(式)		委託料							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	864,000	901,800	104.4	864,000	95.8	901,800	104.4	
	実績	604,800	545,400	90.2	518,400	95.0			

【効率性】

指標名1		霊柩車運転業務1件に係る経費							
指標説明(式)		霊柩業務経費÷件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
qqn	目標	5,400	5,400	100.0	5,400	100.0	5,400	100.0	
	実績	5,400	5,400	100.0	5,400	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	祭壇の運搬・撤収について、適正な対応に努め市民サービスに努力している。	4
	成果目標(改善)達成度	霊柩業務に応えるため、利用者に対して適正に対応できた。	
効率性	コストの節減	祭壇の運搬・撤収について、効率的な運営を図りコスト削減に努めている。	5
	コストの節減	霊柩車の適正管理に努めコスト削減に努める。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	4

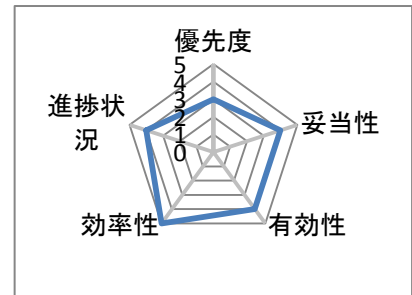
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	自宅葬の件数は減少し続けているものの、葬儀祭壇等の備品については老朽化している。その中で、備品の更新等について熟考する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	備品については廃止することが出来ず、管理について適正に行い、サービスの向上に努めることとする。



配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040304010200		事業の種類	3	
年度	29	事務事業名	ささゆり苑管理運営事業		予算事業名	ささゆり苑管理運営事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部環境課	
施策名(中)		斎場・墓地の適正な管理に努める		担当課長	宇久勝志	担当者名	矢内一夫
取組み事項		斎場の適正管理に努める		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		ささゆり苑補修事業					
根拠法規及び関連法規		相生市ささゆり苑に関する条例および施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	葬儀施設ささゆり苑					
	意図(どのような状態にしたいのか)	ささゆり苑の管理運営の健全化を図り、使用者の利便性を高める。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		ささゆり苑の管理運営を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	通夜・葬儀利用件数	件	199	180	184	200
	火葬炉使用件数	件	406	421	449	420
	動物炉使用件数	件	186	179	214	185

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.352	0.340	97	0.160	47	0.304	190	
	臨時職員	0.020	0.040	200	0.020	50	0.008	40	
支出内訳	人件費	3,029,298	3,014,606	100	1,658,672	55	2,780,312	168	
	事業費	35,514,149	37,539,063	106	40,702,853	108	39,256,000	96	
	合計	38,543,447	40,553,669	105	42,361,525	104	42,036,312	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	38,543,447	40,553,669	105	42,361,525	104	42,036,312	99	
合計	38,543,447	40,553,669	105	42,361,525	104	42,036,312	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ささゆり苑利用率							
指標説明(式)		ささゆり苑葬儀場利用件数÷火葬件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	50	50	100.0	50	100.0	50	100.0	
	実績	49	42.7	87.1	40.9	95.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

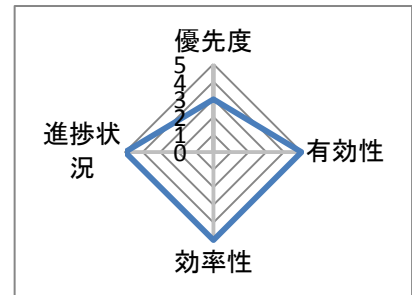
指標名1		事業費に対する使用料収入							
指標説明(式)		ささゆり苑管理運営事業費(人件費除く)÷使用料収入							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	50	50	100.0	50	100.0	50	100.0	
	実績	51	51.5	101.0	50.3	97.7			
指標名2		ささゆり苑管理委託料							
指標説明(式)		ささゆり苑管理委託料							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	17,000,000	17,495,460	102.9	17,495,460	100.0	17,638,200	100.8	
	実績	16,963,512	17,003,628	100.2	8164908	48.0			

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	施設の維持管理について、延命化に努めるとともに点検を重視し、利便性を高めることにより市民サービスに努めた。	5
効率性	負担割合の適正化	利用者の負担割合について、大規模な改修を除き、5割弱の受益者負担を得ており、概ね適正と考えられる。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	火葬炉については、計画を立て、順次更新工事を行っているが、その他設備については経年劣化のため、修理の頻度が高まっている。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	利用者最優先の優先順位をつけ、最小限の改修等に努める。

配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040304010300		事業の種類	1	
年度	29	事務事業名	ささゆり苑使用許可事業		予算事業名		
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部市民課			
施策名(中)	斎場・墓地の適正な管理に努める		担当課長	佐原 正樹	担当者名	平林 良子	
取組み事項	斎場の適正管理に努める		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市ささゆり苑に関する条例、相生市ささゆり苑に関する規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	ささゆり苑使用許可申請者					
	誰(何)を対象として	ささゆり苑使用許可申請者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	遺族の方が、葬儀施設としてスムーズにささゆり苑を利用していただけるようにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		葬儀施設・火葬場の使用許可を行う。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	使用許可事務件数	件	401	420	444	445
	市民のささゆり苑利用件数	件	370	394	408	410

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.346	0.356	103	0.356	100	0.356	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,934,026	3,030,886	103	3,118,720	103	3,170,768	102	
	事業費			-		-		-	
	合計	2,934,026	3,030,886	103	3,118,720	103	3,170,768	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,934,026	3,030,886	103	3,118,720	103	3,170,768	102	
合計	2,934,026	3,030,886	103	3,118,720	103	3,170,768	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		使用許可書交付平均時間							
指標説明(式)		ささゆり苑使用許可申請から許可書を交付するまでの平均時間							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
分	目標	18	18	100.0	18	100.0	18	100.0	
	実績	18	18	100.0	18	100.0			
指標名2		ささゆり苑利用率							
指標説明(式)		ささゆり苑利用件数 / 市民の死亡件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	98	95	96.9	95	100.0	96	101.1	
	実績	95	93	97.9	97	104.3			

【効率性】

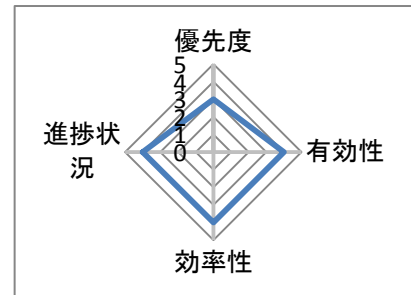
指標名1		1件あたりの許可書交付コスト							
指標説明(式)		総事業費／許可書交付件数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	6450	7403	114.8	7396	99.9	7125	96.3	
	実績	7317	7216	98.6	7024	97.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年度当初の目標は概ね達成できた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	条例・規則に基づき、ささゆり苑の使用許可を迅速・正確に行えた。	
効率性	コストの節減	前年度と比べて、使用許可事務件数の増により事業費が増加したが、1件当たりのコストは減少した。	4
	執行体制の効率性	ささゆり苑の使用許可申請は、市民課で受付を行い、閉庁時は宿直者が対応し、許可書を交付した。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	正確かつ迅速な事務処理を引き続き行い、コストの節減に努める必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	関係部署との連携を密にし、正確かつ迅速な事務処理を引き続き行う。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040304020100		事業の種類	3	
年度	29	事務事業名	市営墓地維持管理事業		予算事業名	市営墓地使用料還付事業ほか 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部環境課	
施策名(中)		斎場・墓地の適正な管理に努める		担当課長	宇久勝志	担当者名	矢内一夫
取組み事項		墓地の適正管理に努める		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市営墓園条例、施行規則、相生市営墓地条例、施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市営墓園					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の墓地需要に対応し、市営墓地を適正に管理する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市営墓地の維持管理事業				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	貸付区画数	区画	2,438	2,437	2427	2439
	古池墓地	区画	532	530	526	526
	相生墓園	区画	1,089	1,088	1085	1093
	東部墓園	区画	817	819	816	820

3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.300	0.300	100	0.160	53	0.308	193	
	臨時職員	0.020	0.040	200	0.020	50	0.008	40	
支出内訳	人件費	2,640,234	2,713,206	103	1,658,672	61	2,812,096	170	
	事業費	24,459,824	11,782,818	48	14,513,253	123	13,221,000	91	
	合計	27,100,058	14,496,024	53	16,171,925	112	16,033,096	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	27,100,058	14,496,024	53	16,171,925	112	16,033,096	99	
合計	27,100,058	14,496,024	53	16,171,925	112	16,033,096	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		墓地貸付率							
指標説明(式)		墓地貸付件数÷全体区画数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	99	99	100.0	99	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

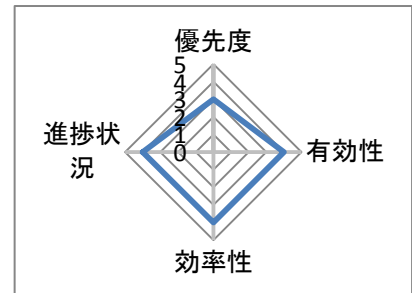
指標名1		1基あたりの維持管理経費							
指標説明(式)		支出額(支出(利子除かない)-還付金)÷貸付区画数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,626	1,610	99.0	1,600	99.4	1,600	100.0	
	実績	1,527	1,594	104.4	1,641	102.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	墓地の新設、返還時に必ず現地確認を行い、設置基準等が守られているか確認し、	4
効率性	手段の最適性	墓地の返還にあたり使用料の8割相当額を還付するため返還しやすくなったことで、適正管理に努め墓地確保を図った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	墓地返還を促すべく、返還時に、使用料の一部返還を行っているが、返還額を見直すべきか否か、検討する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	引き続き、返還金の調査、研究を行う。

配点	25
総合評価	18